

害虫	処置時期	症状	処置	主な樹種
アメリカシロヒトリ	5～6月 8～9月	6月と8月の年2回葉を食害する	見つけ次第補殺するか、ケムシ用殺虫剤を散布する	サクラ、ハナミズキ、カキ
カイガラムシ	一年中	幹や小枝に白い口ウ状物質が付着する	歯ブラシ等でこすり落とすか、薬剤散布する	サクラ、バラ、サルズベリ、ウメ、ツバキ、サザンカ、マツ
モンクロシャチホコ	8～9月	8月から9月に茶褐色のケムシが群生し食害する	見つけ次第補殺するか、ケムシ用殺虫剤を散布する	サクラ、
アブラムシ	3～10月 (4～6月、 9～10月 に多く発生)	葉や茎のやわらかい部分に群生して吸汁する	アブラムシ用殺菌剤を散布する	バラ、ウメ、ツバキ、サザンカ
イラガ	6～7月 8～9月	黄色に青色の筋が入った幼虫が葉を食害する。	見つけ次第補殺するか、殺虫剤を散布する	モミジ、カナメモチ
チャドクガ	4～6月 8～10月	黄褐色で黒い斑紋のあるケムシが葉を食害する	毛に害がある為、素手で触らずに葉や枝ごと取り除くか 薬剤散布する	ツバキ、サザンカ
コナジラミ	4～10月 (温室など では一年 中)	体長1～2mmの白い羽のある成虫が吸汁し、 成長が衰えます。	風通しを良くし適用のある薬剤散布をする	ツツジ、サツキ
マツカレハ	5～10月	灰色で白と黄色の筋が入り毒毛を持ち芽や葉を 食害する。	触らずに適用の薬剤を散布する。	マツ
マツノザイセンチュウ	一年中	1mm以下のセンチュウが食害して葉が黄化し木が 枯る場合もある	早めに専門業者に相談して下さい。	マツ
病気		症状	処置	主な樹種
テングス病	4～12月	枝が異常に密生し、巣のようになったものでカビの 一種によって起こる伝染病です	病気になった部分を取り除き、切断部に癒合材を塗布する	サクラ
うどんこ病	4～11月 (5～7月、 9～10月 に多く発生)	白い斑点が葉に現れ、徐々に広がっていく 光合成が出来なくなる為、葉が変形したり落葉する	風通しを良くする為に剪定し、薬剤散布する	モミジ、ウメ
すす病	一年中 (4～10月 に多く発生)	葉全体に黒いすすのようなカビが覆うようになる	アブラムシやカイガラムシの排泄物を養分とするので これらを防除して風通しが良くなるよう剪定する	ツバキ、サザンカ
炭疽病	春～秋	葉が灰白色になり、穴があいたり部分的には 枯れたりする。	土壌消毒を行い、水はけの良い土作りをし適切な剪定を 行います。発病部分は取り除く。	ツバキ、サザンカ
はん点性の病気	春～秋	葉に赤黒い斑点が出来、一斉に落葉する	病気部分はすぐに取り除く	カナメモチ